

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |               |    |                |
|----------------|---------------|----|----------------|
| ○事業所名          | こども通所サービス さくら |    |                |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年 4月 15日  |    | ～ 2025年 4月 18日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)        | 15 | (回答者数) 14      |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年 4月 15日  |    | ～ 2025年 4月 18日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)        | 5  | (回答者数) 5       |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 4月 19日  |    |                |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)と思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること             | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等  |
|---|---|---|---|
| 1 | ・毎月の製作、イベント、校外学習などで季節を感じられる活動を定期的に行っている               | ・子どもたちが楽しさを感じながら取り組めるような内容にする事で、個々の活動や集団活動、社会性などが経験できるようにしている | ・見学する場所だけではなく、色々と経験出来る様な活動場所を見つけて経験出来るようにしていく<br>・製作では個々に応じた内容で取り組めるようにしていく |
| 2 | ・SNSやおたより、送迎時の会話などを通して、保護者との情報交換や連携をとっている             | ・一人ひとりの様子や日々の出来事などを分かりやすく伝える<br>・日常的な物の補充などをお願いする時は早めにお知らせする  | ・どの職員でも保護者としてしっかり会話が出来るように関係性をしっかりと築いていく                                    |
| 3 | ・職員間で支援開始前や支援終了後に情報共有をする事で、確認や振り返りを行い支援内容や取り組みを共有している | ・気づいたことや気になることなど、小さなことでも情報共有することで共通認識を持つようにしている               | ・内容が見える化することで、いつでも振り返りが出来るようにしていく   |

|   | 事業所の弱み(※)と思われること<br>※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                     | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                    |
|---|--|---|---|
| 1 | ・子どもの活動スペースが広くない                         | ・建物の構造上、部屋数やスペースを確保することが難しい<br>・子どもの成長に伴いスペースが狭くなってきた | ・個々の活動内容に合わせて部屋を区切ったり、校外活動(公園など)を利用することで満足して楽しめるようにしていく |
| 2 | ・地域との交流がない                               | ・交流する機会がない  | ・参加しやすい地域行事などに少しずつ参加し、交流出来るようにしていく                      |
| 3 | ・各避難訓練等が保護者に周知されていない                     | ・保護者に対してのお知らせが不十分                                     | ・しっかりと事前に連絡帳やおたよりでお知らせし、周知してもらえるようにしていく                 |